正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

10月号 2023



今月７日に激化したイスラエル／パレスチナ自治区での戦闘によって、多くの家族が屋根のない路上で十分な水も毛布も衛生用品も手に入らず寝泊りしています。私たちは、全ての当事者に対して、戦時のルールである国際人道法上の法的義務を重視するよう訴えます。民間人や医療従事者は、どんな時でも常に守られなければなりません。

動画で見る現地の状況



「人道支援がガザに入らなければ、より多くの死傷者と苦痛を生み出し、おぞましい光景が広がるでしょう」と語るのは、ICRCガザ報道官のヒシャム・ムハナ。現地の様子につい



今月19日、民放の報道番組にICRC駐日代表の榛澤が出演し、現地の状況を解説しました。



ICRCは、解放された人質４名を移送する役割を担いました（10月25日現在）。20日の２名の人質解放を受け、ICRC総裁がコメントを出しました。



紛争地における「人道回廊」の役割とは？

イスラエル／パレスチナ自治区での紛争の激化に伴い、「人道回廊」への注目が高まっています。人道回廊とは紛争当事者間の合意により、特定の地域に期間を限定して設けられる「安全な避難・人道支援のための経路」のことを指します。人道回廊の設置方法や国際人道法上の定義など、よくある質問にお答えします。

これまでにどこで人道回廊は設置されたの？



ICRCは医療団体ではない？

ICRCは、「敵味方の区別なく、傷ついた人はすべて救う」という理念のもと、1863年に永世中立国のスイス・ジュネーブで発足しました。戦時の人道ニーズを埋めるために、中立・独立・公平を掲げ必要とされる人々へ支援を届けるのはもちろんのこと、戦時の決まりごとである「国際人道法」の守護者として、すべての紛争当事者とも対話をおこなっています。

日本赤十字社は現在、「イスラエル・ガザ人道危機救援金」を受け付けています。救援金の一部は、ICRCの現地の活動にも充てられます。

創設160年のICRCって何をしているの？

「イスラエル・ガザ人道危機救援金」募集（日本赤十字社HP）

【目次】

紛争の現場から
・エチオピア：「何もかも足りません」急がれる支援
・モザンビーク：国内避難民と帰還住民に届けるICRCのHumanity

世界のトレンド
・国際人道法と原則に基づく核兵器の使用は「あり得ない」

日本人に知ってもらいたい！
・命をつなぐインフラを支える！ICRCの“水と暮らし”事業

駐日代表部だより

・人道組織に求められるデータ保護

紛争の現場から



エチオピア：
「何もかも足りません」急がれる支援

エチオピアには、戦闘の被害を受けた人々が各地に散らばって避難生活を送っています。ICRCは、アクセスが困難な地域で、特に弱い立場に置かれている人々を優先的に、医療や栄養摂取面で支援しています。それに加えて、不発弾など放置された武器による被害を減らすための講習会も実施しています。

負傷者や病人は支援を受ける権利がある

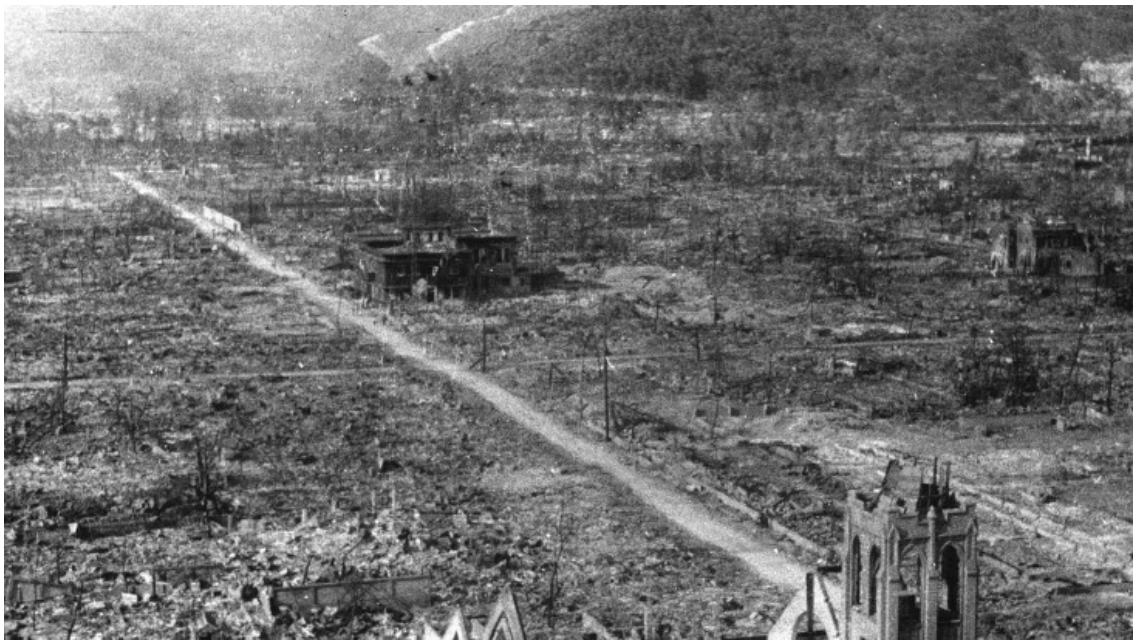


モザンビーク：
国内避難民と帰還住民に届けるICRCのHumanity

約83万4,000人が国内避難民としての生活を余儀なくされているモザンビーク。地元の赤十字社と協力し、生活状況を向上させるために力を尽くしています。

モザンビークからみるICRCの“人々に寄り添う仕事”

世界のトレンド



核兵器の使用は「あり得ない」

９月26日は、「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」。ICRCは、赤十字運動のパートナーと一緒に、核兵器のない世界という共通の目標が達成できるよう、弛まぬ努力を続けていきます。その一環として、11月末に米ニューヨークで開催される第２回核兵器禁止条約締約国会議にICRCユース代表を派遣。その報告は、ニュースレター12月号に掲載します。

核兵器禁止条約は世界の平和と安全を追求する上で希望の光

日本人に知ってもらいたい！



命をつなぐインフラを支える！ICRCの“水と暮らし”事業

紛争下の人道ニーズに応えるため、さまざまな“職人”を抱えるICRC。今回は、ICRCの水と暮らし事業に12年以上従事している同僚に話を聞きました。

収容施設にも行くってホント？

駐日代表部だより



〈緊急シンポジウム〉とどまることを知らない暴力
～私たちが今ガザで目にしていること～

イスラエル／パレスチナ自治区で激化した戦闘を受けて、11月７日（火）に明治学院大学国際平和研究所（PRIME）と共同で緊急シンポジウムを開催します。駐日代表・榛澤が登壇し、“国際人道法の守護者”の立場からイスラエルとガザの「今」について語ります。会場とオンラインでのハイブリッド開催です。ぜひご参加ください！

イベント詳細はこちらから



人道組織に求められるデータ保護

デジタル技術の発展に伴い、人々の個人情報をいかに守っていくか・・・ICRCがBrussels Privacy Hubと一緒に発行した「人道支援におけるデータ保護ハンドブック」の日本語訳が完成しました。人道支援をおこなう上で慎重に扱わなければならない個人データの管理に携わる方、必見です！

[その他のニュースはこちら]

[E-newsletter のアーカイブはこちら]

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp